

シンポジウム in 横須賀 いま止めよう！気候危機

「気候危機打開の現実的な方策についての各地の具体例を学びながら交流」への報告

神奈川労連 事務局次長 藪 治

2025年2月16日

1. 神奈川労連としてはじめて気候危機の問題に取り組んだのは

2022年2月26日で、シンポジウムを開催

「気候危機打開と労働組合～気候正義を実現するために労働組合ができること～」
獲得目標として以下の3点を目指しました。

- ① 気候危機を取り巻く基本的情勢を学び、「危機感」と「展望」を共有する。
- ② 気候危機打開の運動の中で、労働組合の果たすべき役割を見出す。
- ③ それぞれの労働組合が「気候危機対策」の検討に踏み出す。

パネリスト

明日香壽川さん（東北大学東北アジア研究センター・同大学院環境科学研究科教授）

鈴木陸郎さん（横須賀火力発電所建設を考える会）

竹下武さん（全労連常任幹事）

2. 労働組合の大会方針に「気候危機打開」が盛り込まれるようになる。

- ① 神奈川土建主婦の会（現在はパートナーの会）が気候危機学習会を各地で開催
- ② 愛知県労連のとりくみ➡「クールクライメート愛知」への支援

3. 労働組合が気候危機問題にとりくむために

- ① 温暖化の原因は、人類の経済活動。その中で働く労働者、活動する労働組合
- ② 優先順位を上げるためには、経済要求に結びつくことが大切
- ③ 「危機感はある」から運動に踏み出すキッカケをつくる団体での「学び合い」

以上